

令和4年度第2回福岡県スポーツ指導者研修会  
11月6日（日）開催の標記研修会の概要についてお知らせします。

県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課 田代 浩之氏、国立琉球大学 教育学部教授 三輪 一義氏を講師としてお招きして、柳川市三橋生涯学習センターにて開催した。県内スポーツ指導者85名が受講し、感染対策を講じながら研修会を実施した。



## 【講演Ⅰ 休日の部活動の地域移行に向けて】

講師：田代 浩之 氏

(県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課)

部活動の地域移行について講演いただき、部活動改革に係る国の動向から本県の取組を詳しく知る機会となった。また、現状の課題や今後の課題について指導者自身も当事者意識を持ち、考える重要な内容であった。



## 【講演Ⅱ スポーツの指導方法について】

講師：三輪 一義 氏(国立琉球大学教育学部教授)

スポーツの指導方法について講演いただき、指導者の役割と責任について指導者同士で意見を交わし、自分の考えをアウトプットする時間を多く設け、多様な価値観を知る有意義な時間となった。



今回の研修会は、これから益々スポーツ指導者が必要となる背景に、とても重要な講演内容であった。指導者は学校、地域との連携を密に取っていく必要がある。また、指導者は選手を成長させる事はもちろん重要であるが、指導者として成長していくことがもっと重要である事を学んだ。